

特集

# 大学ポートレートの可能性

～大学選びを変え、教学改革を促す～

2014年10月、大学ポートレート<私学版>がスタートした。当初、8割強にあたる約500大学が参加、その後も少しずつ増えている。私立大学独自のフォーマットは、建学の精神に基づく大学ごとの特色を構造的に説明するものになっている。その意図通りに機能させるにはまだ改善すべき点は多いものの、こうした情報発信が大学の教育をどのように比べたらいいかという視点を提供し、入試難易度や知名度のみに頼る大学選びを変える可能性がある。また、ポートレートへの参加が、「本学の特色は何か」という学内の議論を生み、改革を後押しするという効果も期待できよう。大学ポートレートが秘める可能性に着目し、大学がどう向き合うべきかを考える。

オピニオン&提言

**ポートレートで大学選びを変え、大学自身も変わろう**  
 高大接続プロデューサー/進路づくり教育の講師・プランナー 倉部史記氏 P.8



- 大学の取り組み姿勢
- 現場から** 全大学に開かれたメディアが問う情報発信の姿勢と教育の独自性  
 聖学院大学広報局長・学校広報部長 山下研一氏 P.12
  - レポート** 私たちは大学ポートレートにこう取り組んだ  
 東北福祉大学/松本大学/長崎外国語大学 P.16
  - 事例** めざす人材像と学び方を高校生に伝える工夫を総動員  
 関西国際大学 P.18

※紹介している大学ポートレートの情報は2014年11月現在のものです。